

京都食ビジネスプラットフォームの概要

趣旨

農林水産業、食品加工業、流通・販売業など、**食に関連する多様な事業者**が消費者ニーズを的確に捉えた新たな価値を創造し、それらの価値を組み合わせるオープンイノベーションの場として、昨年11月に設置。

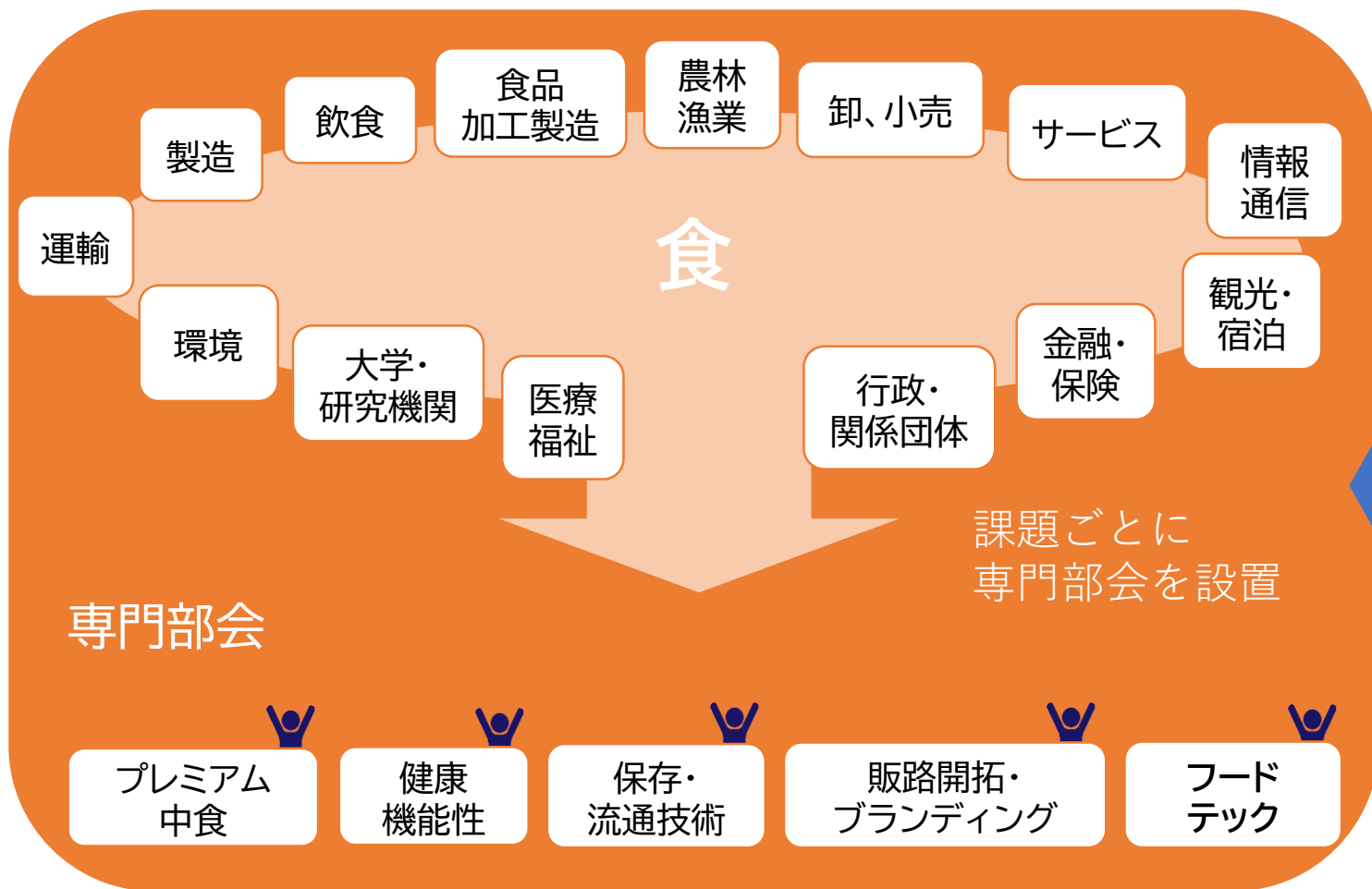
活動内容


- ・ 研修会やセミナー、ワークショップの開催による情報提供
- ・ テーマ別部会の設置によるサプライチェーンの創出
- ・ 専門家派遣、補助金等によるプロジェクトの支援

会員数

176社（R4.7時点）

京都食ビジネスプラットフォームのスキーム



< 支援体制 > 

アドバイザリーボード

- ・研修会、ワークショップ等の開催
- ・有効な知見や方向性のアドバイスの提供
- ・各部会のプロデューサーの設置
- ・専門家の派遣

事業化に向けた伴走支援

事務局
(京都府、(一社)京都府食品産業協会(委託))

プロジェクト組成 

補助金による支援

新商品、新サービスの開発

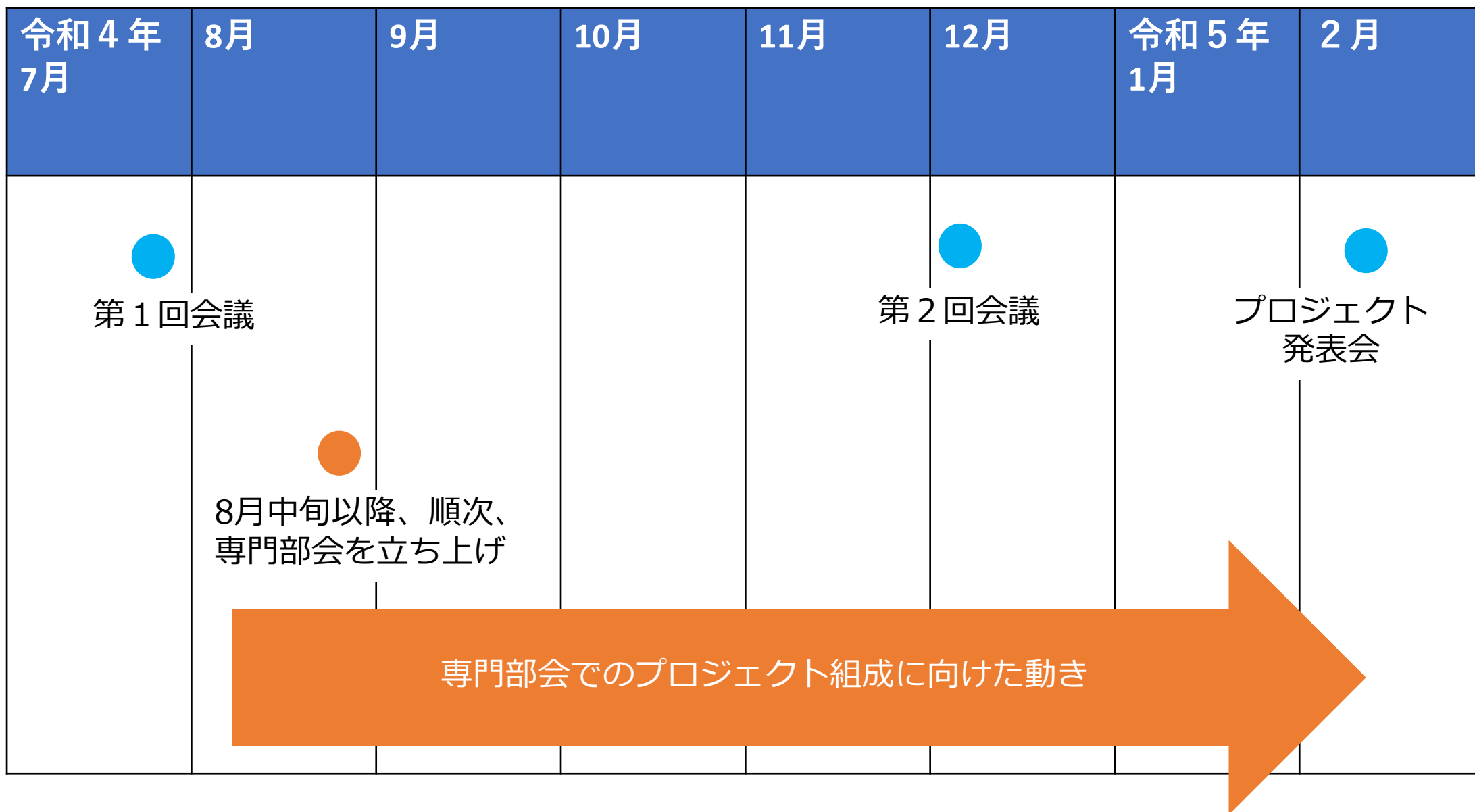
テーマ別の専門部会設置について

- 当初は、5つの部会を設置し、要望に合わせて適宜追加。
必要に応じて部会の中で取組内容に分かれて活動。
- 各部会では、課題を深めるための研修会やワークショップの実施、事業者のマッチングを行い、**新商品・サービスの開発に向けたプロジェクトを創出。**
→**情報提供や補助事業も含めた伴走支援等を実施**

	専門部会	取組内容例
1	プレミアム中食	弁当、惣菜、菓子
2	健康機能性	機能性表示食品、ジビエ、ビール粕、予防医療
3	保存・流通技術	加工技術、冷凍冷蔵保存技術、コールドチェーン
4	販路開拓・ブランディング	輸出、EC、商品PR、市場調査・分析
5	フードテック	代替タンパク質摂取技術、環境負荷低減技術、嚥下食

アドバイザーボードにより、部会活動やプロジェクト活動を強力にサポート

令和4年度スケジュール（例）



研修会やセミナー、ワークショップなどを開催し、

- 需要動向や社会のトレンドなどの市場情報
- 新たなビジネスモデルなどの事例紹介
- 補助金や融資、商談会等などの支援制度

などを情報提供



アドバイザーボードでの支援②

✓ 各部会にプロデューサーを設置し、活動を伴走支援

部会	プロデューサー
プレミアム中食	(調整中)
健康機能性	(調整中)
保存・流通技術	サラヤ株式会社 農水産推進事業プロジェクト 課長補佐 中田 慧悟 氏
販路開拓・ ブランディング	幸財コンサルティング プロデューサー 小財 誓子 氏
フードテック	シンク・アンド・アクト株式会社

✓ プロデューサーによる支援内容

- ・事業者のマッチング、プロジェクト組成に向けた働きかけ
- ・プロジェクトの伴走支援
- ・プロジェクトの課題に応じ、適宜専門家の派遣
- ・補助事業の導入支援

